

カキ殻等廃棄物の有効利用に関する研究

研究部

背景、目的

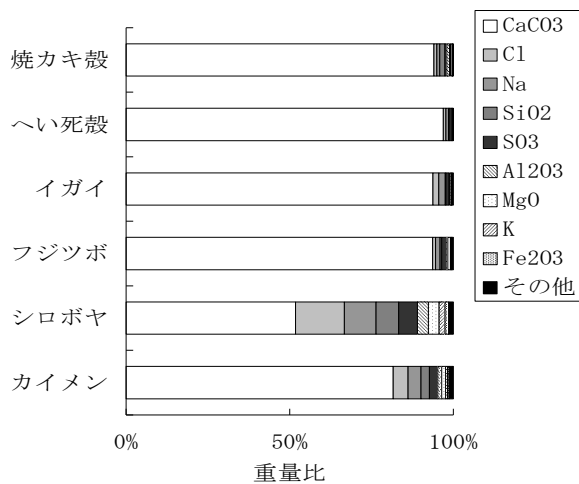
筑前海ではカキ養殖の生産量が年々増加しており、カキ殻等の廃棄物の処理が課題となってきました。

そこで、漁協、JA、民間、県及び市が連携してカキ殻等の廃棄物の有効利用を検討しました。

成果の概要

(1) カキ小屋における焼カキ殻の有効利用

養殖時に発生する各種廃棄物の成分分析の結果、いずれも主成分は炭酸カルシウムであることから、石灰肥料へのリサイクルが可能であることがわかりました。そのうち、異物が少ない焼カキ殻で石灰肥料へのリサイクルが進められ、「シーライム」として製造販売されるようになりました。



成分分析結果



シーライム

(2) 廃棄物の削減効果

カキ殻のリサイクルにより廃棄物処理量が249トン減少し、それにより漁業者の負担する経費を746千円削減することができました。



カキ殻等リサイクルのイメージ